

BCC 第 3 回 “架け橋大賞”

日時：2018 年 11 月 25 日（日）9 時～12 時

場所：順天堂大学 10 号館 1 階会議室

目的：

- ・2016 年に実施した第 1 回がんの治療と就労の両立支援 “架け橋大賞” の活動の継続として実施する。
- ・がんの治療と就労の両立支援に関し、①企業部門（大規模・中小規模・零細企業）、②医療施設部門、③支援団体部門（①②に属さない団体）で、良い取り組みを実施している施設や団体を表彰する。
- ・上記の表彰により、その取り組みを広く周知させ、がんに関わった就労者と関わることもある他の企業や医療機関における治療と就労の両立支援活動のより一層の促進を目指す。さらには、がんに関わった就労者やその家族、市民における治療と就労の両立問題への知識普及や啓発を図る。企業の社会貢献としてアピールするポイントにもなることを期待する。

実施計画

時期	内容
2018 年 9 月	BCC*のホームページなどにて告知を開始
2018 年 9 月	応募要領を公表（BCC の HP などにて公開、関連機関に協力依頼）。 部門別（①Company ②Clinic ③Supporter;支援団体）に募集。 応募要件（関東圏の事業場・医療施設・その他がん患者の就労支援を実施している団体など）、応募申請内容（組織概要、担当者、疾患を抱えた従業員が利用可能な制度、両立支援に該当する従業員情報、がんの治療と就労の両立支援に関する具体的な体制・取組概要など）、応募手続、応募期間、評価基準、審査方法、表彰式について。
9 月 1 日～9 月 30 日	応募期間
10 月上旬	BCC のチームによる第一次審査（書類選考）
10 月中旬	表彰企業・医療機関などの決定、連絡（11 月 25 日に 7 分でプレゼンテーション、あるいは上映するビデオの作成を依頼）
11 月 25 日	一次審査で選ばれたチームの発表会（1 時間 30 分） 企業・医療施設・行政・患者代表による審査（30 分） 昨年受賞のチームや BCC は、その活動内容の発表（30 分） 講評と表彰式（30 分）

*BCC (Bridge between Clinic & Company)：労災疾病臨床研究事業費補助金「主治医と産業医の連携に関する有効な手法の提案に関する研究（～2016 年度）」(横山班)の研究分担者（がんの両立支援）らが立ち上げた研究グループ（順天堂大学乳腺センター齊藤光江、同大学衛生学武藤剛、同大学公衆衛生遠藤源樹、中央大学ビジネススクール露木恵美子、企業執行役員永江耕治、社労士近藤明美、鎌倉女子大学田口良子ら）のグループ名

BCC の HP: <https://teambcc.jp/>

- ・協力機関：昨年の受賞グループ、企業の組合、医師会、患者支援団体、協会けんぽ、東京商工会議所、都道府県産業保健総合支援センター、都道府県産業保健総合支援センターを通じた企業、ビジネススクール、順天堂大学、医療機関も、がん拠点病院や労災病院など

- ・企業・医療機関などが表彰されるメリットとして以下を検討中：順天堂大学の HP や、BCC の HP など事業場名などを公表する、上記共催機関の団体内での広報など

今回の表彰の特徴

- ・がんの両立支援の企業表彰は、東京都では実施（平成 26 年度より）されているが、アカデミア（大学）では例がない
- ・表彰対象として、事業場と医療施設やその他の団体を同時に視点に入れた表彰はほとんど実施されていない。
- ・昨年の受賞グループや、本事業（BCC）の活動を公開することで、本企画の継続と向上に向けてフィードバックをかけることができる。
- ・第 3 回を迎えるにあたり、これまでの審査結果をまとめた報告集を作成し、これからの方向性について応募者をはじめ関係者の皆さまと共に議論を深めて参るきっかけとする。